



GOVERNOR'S Monthly Letter

国際ロータリー 第2580地区 ガバナー月信

March 2021
No. 9

3

ガバナー 野生司 義光

新型コロナ予防接種への ロータリーの関与について

困難な時を迎えておりますが、コロナウイルス流行に地域社会で懸命に対応しているロータリー会員の活動に頭が下がる思いです。

ポリオ根絶はロータリーの最優先活動であり、唯一の組織的プログラムです。ポリオの予防接種と監視活動を、今後も弱めることなく続けていかなければなりません。また、ポリオ根絶のために年に5000万ドルを集めなくてはなりません。

国際ロータリー会長ホルガー・クナーク氏は、コロナ禍は世界で猛威を振っています。RI理事会と財団管理委員会は合同会合を開き、ロータリーにはコロナ禍で果たすべき役割があることで一致したと言っておられます。

ポリオ根絶活動での体験を基に、ワクチンの安全性と有効性に関するロータリーの知識を生かして、地域社会で予防接種に関する啓発と呼びかけを行うこと。これは、地域独自の文化やニーズに適した方法で行う必要があります。適切なメッセージと方策を生み出すには、皆様のリーダーシップが欠かせません。

適切であれば、ポリオ根絶のパートナー団体であるWHO（世界保健機構）、UNICEF（国連児童基金）と国レベルで協力し、予防接種を含むコロナウイルス対策をロータリーが支援できることを伝えること。

国レベルのロータリーの活動を支援するために、地元レベルで自治体、企業、他財団と協力すること。

ロータリー会員はこれまで、数百件もグローバル補助金とプロジェクトを通じて、コロナウイルスに関する啓発、重要な防護服の寄贈、前線で戦う医療従事者への支援を行ってきました。皆様の地域でこうした活動について耳にされた場合には、その活動をロータリーショーケースに掲載するよう、クラブに奨励してください。（最初にMy ROTARYにログインしてください。My ROTARYのメニューからロータリーショーケースを開くことができま



ボルガー・クナーク国際ロータリー会長とスザンヌ夫人

す）。既に3千件以上の活動がショーケースで紹介されており、皆様の地域での活動についてもぜひ知りたいと考えております。

私たちは、手を取り合ってコロナウイルス流行に対応し、地域社会をサポートし、ロータリアンによる今後の活動を支えるために力を尽くしています。

こうした活動は私たち自身のため、そして未来のためです。今の世代が最大の課題に直面する中で、私たちには世界を支える義務があります。とホルガー・クナーク会長は申しております。ぜひ皆さんでコロナ撲滅のために頑張りましょう。

上半期 ガバナー補佐報告

(東分区、武蔵野分区、多摩分区、沖縄分区)

金谷 正次 ガバナー補佐

(東京東ロータリークラブ所属)

担当クラブ 東京東、東京江東、東京城東、
東京向島、東京ベイ

半期が終わり新しい年を迎え、ガバナー補佐としても新たに新年のご挨拶に各担当クラブへの訪問を予定している最中でしたが、緊急事態宣言が出された為どのクラブも休会を余儀なくされてしまいました。

幸い当東分区 16 クラブ全て昨年末までにガバナー公式訪問をお迎えすることが出来た事は大変喜ばしい限りです。私もガバナー補佐として担当する 5 クラブへ、クラブ協議会への参加及び自己紹介を含めての卓話をこなすことができましたが、各クラブの皆様とも友好を深め始めた矢先の休会となり残念で仕方ありません。

緊急事態宣言という外出自粛の状況下であればなおさら、私たちロータリアンはお互いに助け合い、乗り切る道を試行錯誤していく時であります。

東分区ではロータリアンのお店を会員同士で積極的に利用していただけるよう職業キャンペーンを打ち出しました。7 クラブから 22 項目が提案され、盛況な成果を得ることができました。

10 月 14 日に東分区のゴルフ大会を千葉カントリー野田コースで開き、江北ロータリーのホストの元に 139 名の参加で楽しむことができました。表彰式及び懇親会は 3 月に延期した IM で行うことにしましたが、その IM 自体もコロナ禍の影響で開催内容を変更せざるを得ない事態に追い込まれました。よって表彰式は各クラブ代表者のみの出席で行う、ということです。

このような活動の厳しい状況においても、臨海ロータリークラブ内に、北斗衛星クラブは 25 名のメンバーを迎えて発足しました。新時代のロータリークラブの始まりと言えるでしょう。

今後も各クラブの会長とも連絡を取り合い、時代に即したロータリークラブ活動を乗り切って行ければと考えております。

廣田 健史 ガバナー補佐

(東京向島ロータリークラブ所属)

担当クラブ 東京江北、東京葛飾、東京葛飾東
東京足立、東京葛飾中央

昨年以來、新型コロナウイルス感染拡大により世界中の人々の自由な行動が制限され、経済活動の停滞も長期に及んでいます。2 月中にファイザー社のワクチンが承認され、まず医療従事者への接種が開始されるようですが、ハイスピードで開発されたワクチンのため安全性、有効性が十分に確認されていないため、完全では無いにしても、先が見通せない状況から、終息への道筋が少しずつも見えてきたことは明るいニュースであると思います。

今年に入っていくよりの緊急事態宣言発令と飲食業への営業時短要請によって、ほとんどのクラブで例会が開催されておらず、ロータリークラブにとっても非常事態になっています。ロータリーの仲間は毎週の例会で友と語ることを楽しみにロータリーライフを送っているのに、コロナ禍でやむを得ないとわかっているのに、例会がなくなり、諸活動も大幅に制限されている現状を残念に思うロータリアンは多いと聞いています。

各クラブの事業計画は、コロナ禍、危機管理上限られた奉仕活動に限定されるため、あるクラブのベテラン会長経験者は、恒常的にリモート会議が行われるようになると、最新の IT 技術に感心すると同時に、直接あって会話をする機会が失われていく現状を憂いている旨の発言をされていました。

IT 技術の進歩は確実に日常生活に大きな変化をもたらしました。昭和の生まれだからといって行けないと言う前に、なんとか努力をして最新の技術についていこうとする気概を持つことが必要なのではないかと思えます。

温故知新、昔からの流れを熟知した先輩ロータリアンから、若い人たちは多くを学ぶことができたと思えます。

奉仕の中にロータリアンとしての人の道があることは、多くの先輩方から教育を受けた皆様の人生に、知らず知らずのうちに活かされていると思えます。

私も諸先輩から多くを学び、大変勉強になったことから、ロータリーに入会して本当に良かったと感謝しております。

めまぐるしく変化する現在、昔にはなかった価値観、新しい生活様式を素直に受け入れることができる若い仲間は、古き良き時代を過ぎた不器用な先輩を優しく指導し、素晴らしいロータリーライフを全員の力で作っていきたいと思えます。

東分區では、変則のIM開催となりますが、ホストクラブ江戸川RCを中心に海老沼ガバナー補佐(担当)と共に、活発な実行委員会の元で開催されます。

「ロータリークラブに入っていて良かった」と本音で語り合うIM開催です。楽しみにしてください。

世の中の為に仲間の輪を広げ、コロナに負けずにロータリー活動を進めてまいりましょう。

海老沼 孝二 ガバナー補佐

(東京江北ロータリークラブ所属)

担当クラブ 東京江戸川、東京東江戸川、東京臨海
東京江戸川中央、東京臨海東、東京臨海西

野生司ガバナー年度の準備が始まった頃、最大のテーマは会員増強でありました。

そのためにIMの場を使い、会員増強について皆様の思いをぶつけ合い意識を高めることで、クラブの会員が腹落ちして会員増強を進められればと考えておりました。

そこに昨年3月からの新型コロナウイルス感染拡大です。クラブでは休会が相次ぎ、例会の再開を模索する中で、感染防止対策やWebを併用した例会を施行するなど、苦しみながらのロータリー活動が始まりました。

しかしコロナ禍は、ロータリーを客観的に見る機会にもなりました。そして私は、仕事、家族、健康、ロータリー、そして人生について、思いを巡らせる時間も頂きました。

それは皆さまも同じではないでしょうか。

ロータリーは人間道場であるとも言われます。私はロータリーに入って多くのことを学び、自分自身そして事業も磨くことができました。ロータリーには感謝の気持ちでいっぱいです。

昨年、東分區の皆様が家庭集会やクラブフォーラム等で「ロータリーに入って良かったこと」をテーマに語り合って頂き、多くのロータリアンの心を知ることができました。

3月8日のIMの基調講演は、水野正人パストガバナーにお願いし、～今だからこそ思う～「ロータリーに入っていて良かった！」というテーマでお話し頂きます。

加えて、皆様から頂いた声をパネルディスカッションの場で紹介し、ロータリーの魅力を語り合う予定です。

しかし、再度の緊急事態宣言発令後の状況をふまえ、如何に安全にIMを開催できるか熟慮した結果、会員が一堂に会してのIMの形では無く、リモートでの基調講演、少人数でおこなうパネルディスカッションを映像に撮り、4月以降クラブ例会で会員の皆様に見て参加して頂き、IMとすることに致しました。IMの意味を自問自答しながら導き出した結論です。形は変わりますが、IMの目的が達成されることを願いつつ、皆様のご協力をお願い申し上げます。

飯村 雅洋 ガバナー補佐

(東京武蔵野中央ロータリークラブ所属)

担当クラブ 東京武蔵野、東京小平、東京田無
東京東久留米、東京保谷、東京武蔵野中央

COVID-19感染拡大による第2次緊急事態宣言で、各クラブは例会の休会を余儀なくされ、且つ例会場の確保にご苦労をされておるクラブもあります。

そのような現状下であっても奉仕活動を実施されているクラブがあることに敬意を表します。

しかしロータリーは前進します。休会の時間を利用してクラブの運営やロータリーの学習、COVID-19収束後の奉仕活動について等を考える機会ではないでしょうか。

上半期も終わり、下半期が始まっております。すでに3回の6クラブ訪問を行い、野生司ガバナーの重点活動項目である、会員増強、公共イメージ向上に関しての意見を聞き確認をしながら、クラブの現状を把握しております。また、新設された「奉仕プロジェクトグループ」をいかにクラブで活用されているのかの意見交換もしております。

各クラブともに、これらのことを十分に理解され、協力していただいていることに感謝申し上げます。

下半期は第1に、3月2日に開催するインターシティミーティングの準備です。

COVID-19の感染防止を徹底することを最重要課題と考え、本来であれば6クラブの全会員出席の中で開催するべきですが、ソーシャルディスタンスを考慮して、60名に來会していただき、他の会員にはリモートによるライブ配信、いわゆるリアルとリモートでのハイブリッドで開催いたします。

分區テーマは「クラブの成長と分區的活性化」。

内容は、①パネルディスカッション 会員増強(6クラブ会長) ②パネルディスカッション 公共イメージ向上(6クラブ公共イメージ向上委員長) ③社会奉仕活動研究 になります。

分區テーマの「クラブの成長」は、5年先のクラブ運営を見据え、新会員並びに若手会員へのオリエンテーションを実施して、ロータリーの知識を学び、ロータリアンである意義を理解しリーダーとして活躍されることであります。

「分區的活性化」は、今まで行いませんでしたが、6クラブの会員が参集して、ロータリーを語り、情報交換し、他クラブの良い点を学び、切磋琢磨して自クラブに反映することです。

そのために、6クラブの若手会員を中心に、若手を育成していただくシニアを加えた自由に参加できる「ロータリーを語ろう会」を発足しました。ロータリーの分からないこと、疑問、活動の方向性等々自由に「語り合い」「学び合う」場であります。

コロナ禍でありますので、参加人数を制限して、10月22日に1クラブ5名計30名の会員が参集して発足会を行いました。その際各クラブから幹事を選出していただき、12月4日に幹事会を実施しました。

例会の休会が続きますと、ロータリー活動のモチベーションが低下することが懸念されます。リモートを使用した例会、例会時間外であってもクラブが会員への情報発信をされることを要望しております。

小峰 博昭 ガバナー補佐

(東京青梅ロータリークラブ所属)

担当クラブ 東京青梅、東京東村山、東京福生、東京東大和、東京武蔵村山、東京秋川

担当クラブ会長からの報告をまとめました。

東京青梅 RC 会長 塩野 淳巳

12/15 年次総会にて次々年度会長に小山豊会員が承認されました。

12/22 コロナ対応で休会。

1/7 IM 実行委員会役員会を開催

拡大を続けるコロナ禍に於けるIM開催の是非を再検討し、大変残念では有りますが今回の開催を見合わせることに成りました。

例会は暫くの間緊急事態宣言に対応した「集まらない例会」のスタイルを採用します。自由なテーマでの投稿ベースに情報交換を行うスタイルを例会に替わるものとします。

今春、姉妹クラブの台中港扶輪社との統盟式は見合わせる。

東京東村山 RC 会長 野村 高章

12月3日年次総会にて次々年度会長に北久保隆一会員、次々年度幹事に大仁田隆義会員が承認されました。

12月24日感染防止のためクリスマス移動例会を中止し、会長、幹事が「上半期を顧みて」各15分発表。

例会は緊急事態宣言発令により1月21日、2月4日取りやめとしました。

次年度会長予定者が岩原隆会員から野沢秀夫会員に変更になりました。幹事予定者の平野裕明会員に変更は有りません。

東京福生 RC 会長 齋藤 文人

例会 12/9 クラブ協議会

12/19 クリスマス夜間例会

1/13 感染防止のため30分に短縮

1/20、1/27、2/3

緊急事態宣言に伴い休会

コロナ感染予防対策

空間除菌消臭機（ジアイロー）2台例会場に設置。

東京東大和 RC 会長 金野 眞一

例会 12/15 までは通常通り開催。

12/19 クリスマス例会中止

1/12 新年例会開催。

1/19、1/27、2/2 休会

理事会

12/15、1/19、2/2 (ZOOM) にて

1/19 理事会

2021年4月～2022年3月の米山奨学生受入決議。

東京武蔵村山 RC 会長 新海 正人

12月初旬から1月のクラブ運営はコロナ対策を継続した上で、前半のみ予定どおりに行われたが、年末の第3波の拡大によりクリスマス例会は止む無く中止となった。

地区補助金事業プロジェクトとして、社会福祉協議会に対し高齢者及び障害者疑似体験器具等の寄贈を年明けに考えていたが、この状況では贈呈式もままならない。

2月に開催予定であった青少年奉仕事業の2大イベントの1つであるジュニアサッカー大会も協会から辞退連絡を受け中止とした。

本年度会長テーマである「生業について語り合う」機会としての夜間例会や例会後に集う「炬燵」の開催も引き続き出来ないのが大変残念である。

東京秋川 RC 会長 岡部道明

今年に入りいきなり緊急事態宣言が発令され、IMが中止になり2/5の多摩分区分区連絡会も事前報告書による紙上分区分区連絡会となり、4/24の現新合同分区分区連絡会も中止となりました。多摩分区分の皆さんとお会いできず淋しく感じております。然しながら当クラブはこのコロナ禍のなか、少しでも奉仕活動を進めてまいりたいと願っております。

例会 12/10 迄は通常例会。

12/19 東京秋川 RC 杯

秋川流域中学校女子バレーボール大会

1/14 新年例会

1/21、1/28、2/4

緊急事態宣言に伴い休会

以後はハイブリッド会議またはオンライン会議を上手に組み合わせて執り行いたいと考えています。

安里 政晃 ガバナー補佐

(那覇ロータリークラブ所属)
担当クラブ 那覇、石垣、コザ、
那覇東、名護、那覇北

沖縄県では、今年度スタート直後に県独自の緊急事態が宣言され全てのクラブで例会開催の自粛を余儀なくされました。そんな中、各クラブ創意工夫をされながら様々な奉仕活動に取り組んでいますので、その一部をご報告致します。

那覇クラブは社会奉仕活動費を増額し、困窮する外国人留学生への支援や、子ども達への食支援活動、児童養護施設への運動遊具寄贈と積極的な活動を実践しています。名護クラブは学校行事の中止が続く中、北部地区中学校新人野球大会開催や中学校への桜の植樹等を積極的に行っております。那覇東クラブは、インターアクトクラブの支援を中心に青少年奉仕へ力を注ぐ他、各クラブがコロナ禍で会員を減らす中、積極的な会員増強を行っております。那覇北クラブは、児童養護施設へ継続支援を中心に会員相互の親睦活動に力を入れております。コザクラブは、こどもの国への支援や児童養護施設への継続的な支援を積極的に行っております。最後に石垣クラブでは今年度創立60周年を迎えることから様々な奉仕活動が計画されており、大濱信泉記念館のトイレ改修工事、指田文庫への寄贈、記念式典等を実施する予定となっております。

また、ガバナー公式訪問ですが、2度にわたる延期により開催自体危ぶまれておりましたが、石垣クラブで分区初のzoomによる公式訪問を開催いたしました。那覇北、那覇東両クラブにおいても2月以降にzoom等を活用し、早期に公式訪問を実施してまいります。このように3度にわたる緊急事態宣言がありましたが、各クラブとも元気に活動されています。

最後にIMに関しては3月開催へと準備を進めてまいりましたが、再度の緊急事態宣言により残念ながら中止する運びとなりました。

西村 眞一 ガバナー補佐

(那覇東ロータリークラブ所属)
担当クラブ 那覇西、宮古島、宜野湾、
浦添、那覇南

沖縄分区ガバナー補佐の西村でございます。今日(令和3年1月28日)現在、沖縄県は緊急事態宣言が発出されております。そんなコロナ禍にあって昨年9月16～18日及びその代替えとなった令和3年1月13～15日のガバナー公式訪問のいずれもが、延期とされました。今後の日程が全く予測できない中、私の担当する、那覇西RC、宜野湾RC、浦添RC、の3クラブがいまだに野生司ガバナーに直接お会いできないという状況が続いております。

すでにガバナー公式訪問を終了した宮古島RCは10月に継続事業である貧困家庭の子供たちのための「子ども食堂」への支援を行いました。今年度はコロナ禍で、利用する子供たちも多く、今後も継続して支援することを確認しました。

那覇南RCも10月17日に継続事業である「韓国人学生による日本語弁論大会」を今年はオンラインで後援開催し、「韓国と日本の未来」について12名の韓国人学生に日本語で語っていただきました。

年が明けた1月6日には、那覇西RCがコロナ禍で経済的に困窮する外国人留学生10人を定例会に招き、一人当たり2万円を6カ月支給する特別給付事業を始め、生活費や学費の支援で留学生が学業に専念できるよう激励しました。

宜野湾RCは残念ながら1月の創立55周年記念事業が延期されましたが、年度内には必ず実施する意気込みで準備を進めています。県内ほとんどのクラブがリアル例会を休会する中であって、浦添RCは緊急事態宣言の最中であっても、オンライン例会を継続し、他のクラブからの参加も大いに受け入れ、分区内で唯一、例会活動を継続し、情報交換の場を提供していただいております。沖縄分区内全クラブとも一日も早いコロナの収束を願い、ロータリー活動の再開を願っております。

【哀悼】 謹んで哀悼の意を表します

東京紀尾井町ロータリークラブ

中島 辰巳 名誉会員

逝去日 2020年11月15日 享年92
 入会日 1992年9月
 財団法人全国中小企業共済財団 顧問
 ポール・ハリス・フェロー



東京板橋ロータリークラブ

高山 精雄 会員

逝去日 2021年1月10日 享年98
 入会日 1972年3月7日
 学校法人 杏文学園 名誉理事長
 マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
 ベネファクター
 米山功労者マルチプル



東京江北ロータリークラブ

庄司 孝輝 会員

逝去日 2021年1月22日 享年66
 入会日 1999年7月8日
 株式会社ピーアークホールディングス
 取締役相談役
 米山功労者



東京本郷ロータリークラブ

大住 省一 会員

逝去日 2021年1月22日 享年71
 入会日 1994年6月29日
 株式会社上野風月堂代表取締役会長
 マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
 米山功労者マルチプル



東京福生ロータリークラブ

加藤 勇 会員

逝去日 2021年2月8日 享年89
 入会日 1981年6月27日
 株式会社ブラジージュ 相談役
 マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
 ベネファクター
 米山功労者
 米山特別功労法人



ご厚意に対し、深く感謝申し上げます

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

- 4回 秋本 誠一 (東京武蔵野)
 3回 山内 哲夫 (東京新宿)
 櫻井 秀夫 (東京武蔵野)
 2回 砂塚 茂義 (東京新宿)
 1回 佐藤 季昭 (東京新宿)

ポール・ハリス・フェロー

- 太田 昌一郎 (東京新宿)
 鈴木 利英 (東京新宿)
 矢野 賀也 (東京新宿)
 星 英典 (東京練馬西)
 磯部 昌美 (東京武蔵野)

米山功労者・メジャードナー

- 54回 依田 巽 (東京)

米山功労者

- 相澤 弥一郎 (東京)
 引地 正修 (東京新都心)

2021年1月31日分まで 敬称略 順不同

会員数報告

2020年7月1日 クラブ数	70 RC
2020年7月1日 会員数	2,868 名
(内女性)	204 名
2020年12月末 クラブ数	70 RC
2020年12月末 会員数	2,921 名
(内女性)	216 名
2020-21 年度入会者	153 名
2020-21 年度退会者	100 名
2020-21 年度会員増減数	53 名

ガバナー月信担当地区副幹事 平井憲太郎 (東京池袋西 RC)